イクルをカバーする装置マネージメント環境と、統一された作業環境でシステム全体のプログラム開発、ネットワーク設定、装置マネージメント環境を一元的に提供できる仕組み。

同社ではまず、7月8日にこの新しい仕組みを採用した製品の第1弾として、同技術の応用製品「Smart ライブラリ」に対応したPLC「SYSMAC CS1/CJ1 CPU」など、コントローラー製品5機種58形式を発売した。

今後、同社では、商品の品揃え、機能強化を継続し、新しい仕組みを使用した高品質な生産設備作り、止まらない設備作り、高い生産性を維持する設備作りというコンセプトの具体化を加速させていく。

NKE 異常をメールで自動通報

「れんら君」24時間モニタリング

NKE（京都府長岡京市馬場図所27、☎075－955－0071、中村圭二社長）は、設備の状態や異常をモニタリングし、その状況をEメールで自動通報できる簡易情報連絡端末「オートメッセンジャーれんら君」＝写真＝（型式UNC－RP01）を開発、8月1日から発売する。

「れんら君」は、設備を24時間モニタリング、設備のメンテナンス時期や異常をいつでもどこでも保守担当者の携帯電話、パソコンなどに自動通知し、迅速確実な処置をサポート。特に発生頻度の低い現象も見逃がすことなく確実に確認、担当者の負担を軽減し質の高いメンテナンスが可能となる。

外形57×90×33㎜のコンパクトボディで、DINレール固定またはマグネット取り付けなどが簡単。既設LANに接続するだけで簡単に使用できる。メール配信先、発信情報の設定はLANケーブルを接続しパソコンで簡単に設定でき、モニタリング稼働時はパソコン、サーバーは一切必要ない。

情報通知は、Eメール送信なので常時携帯電話やパソコン、PDAなどの端末機器で受信でき添付ファイルも送信できる。高いセキュリティ機能を持ち、ウイルスの影響は一切受けることはない。

機能は2点入力、1点出力のI／O機能と、LANポートを持ち、入力にセンサーなどの検知スイッチ、出力にブザー、ランプなどの警報機器、LANポートにLANケーブルを接続する。異常が起これば入力機器が検知、れんら君に信号が入り警報機器に出力、LANを経由して情報を通知する。

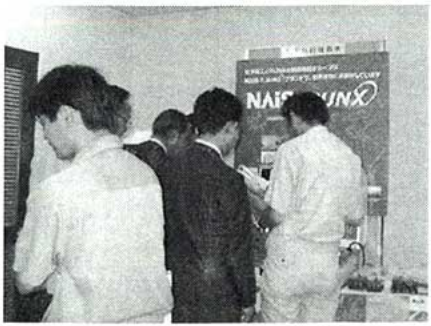
一定時間継続した信号により「注意を通知する第1回目のメール」、さらに継続した信号を受け「警告を通知する第2回目のメール」を発信する機能を持ち、異常の度合い、緊急度により通知する情報、通知先などを設定することができる。

FA設備のモニタリング以外に簡易防犯システム、さらに一般住宅用の簡易セキュリティなど、様々な用途に使用できる。

40社出展、豊富な品揃え

大電社「ワンさかフェア」

大電社（阪野正廣社長）は9日、大阪市浪速区の同社本社ビルで「FAワンさかフェア大電社mini展示会」を開催した＝写真。



同展は、「ナンバーワンの品揃えをオンリーワンのサービスで」をテーマにして、同社ならではの品揃えをモットーに、入力機器、出力機器、制御機器、シス